



令和4年2月2日
令和3年度学校だより NO.49
加古川市立平荘小学校

新型コロナウイルス感染防止対策について

新型コロナウイルスによる兵庫県内の公立小中高校や特別支援学校の学級・学年閉鎖や休校が、1月27日の時点で、全学校の32パーセントに当たる計406校で起きているそうです。

コロナ第6波を拡大させている「オミクロン株」は、感染力が強いとされ、県内の小中高校で確認されたクラスター（感染者集団）も24日までに31件もあったそうです。

私たちにできる『新型コロナウイルス感染防止対策』は、三密を避けることです。換気を十分に行い、基本的には常時マスク（可能な限り不織布マスク）を着用することです。そして、食事の際には、黙食の徹底を行うことです。

県教育委員会も、2月1日（火）の神戸新聞の記事で、「換気が悪い部屋で食事をす、体育や部活動の更衣時などマスクを外して会話するなど、ふとした隙が感染につながっている」と指摘しています。

学校は、子どもたちの集団生活の場です。一人一人が感染防止について意識を高く持ち、自分も周りの人も感染しないように努めたいと思います。

以下の内容に当てはまる場合は、「出席停止」です。

- 発熱、咳、だるさなど風邪症状（ワクチン接種後を含む）がある場合は「出席停止」となりますので、自宅で休養を徹底してください。なお、学校再開は症状が改善した翌日からとします。
- 同居家族に風邪症状（ワクチン接種後を含む）が見られる場合やPCR検査を受けている場合も「出席停止」とします。

《令和4年1月21日付 『学校における感染症対策の徹底について』一部抜粋》

新型コロナウイルス感染症に係る臨時休業等の学校名公表について
市教育委員会から、2月2日（水）より、新型コロナウイルス感染症に係る臨時休業（学級・学年閉鎖や休校）等を実施する学校名を公表する旨の通知がありましたのでお知らせいたします。

ご理解ご協力をお願いします

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、感染された方々やその家族、濃厚接触者、医療従事者等に対する誹謗中傷やインターネット上での心ない書き込み等を耳にする時、大変心が痛みます。不確かな情報や誤解に基づく不当な差別、偏見、いじめ等があってはなりません。

新型コロナウイルス感染症に関する正確な情報を入手し、人権侵害につながることをないよう冷静な行動をお願いいたします。

また、自宅待機をする児童のうち希望者を対象に、Meet を使って教職員と交流が持てればと考えております。詳しくは、担任までご連絡ください。

加古川市立義務教育学校の名前がきました

以下、『両荘みらい学園 開校準備だより』の一部を抜粋してご紹介します。

両荘みらい学園

開校準備だより

第6号

令和4年1月28日発行
加古川市教育委員会



■新校名が決定しました

8月2日から9月10日までの期間、校名案を募集したところ、在校生、卒業生、教職員、地域の皆様から156件というたくさんのご応募をいただきました。誠にありがとうございました。

開校準備委員会において、皆様からご応募いただいた校名案をもとに複数の校名案を選定し、1月定例会教育委員会において協議を行った結果、新校名は

「加古川市立義務教育学校 両荘みらい学園」に決定しました。

校名には、『両荘』と付けることで、平荘・上荘2つの地名がイメージでき、2つの地区が、これからも交流し、地域で子どもを育てたい、「これからの未来を担う子どもたちが、『両荘地区の未来』だけでなく、『自分たちの未来』について、夢見ることを楽しめるような学校になって欲しい」という想いが込められています。



■開校に向けた取組みを進めています

標準服（制服）や学校運営等のソフト面については、両荘中、平荘小、上荘小が主体となって検討を進めています。

標準服・体操服・スクールバッグについて

標準服・体操服・スクールバッグについて検討する第1回標準服等検討委員会が12月20日（月）に両荘中学校にて開催され、今後、以下の基準に沿って進めることになりました。検討委員は両荘中、平荘小、上荘小、都台こども園、みどりの森こども園の代表計11名です。7月に実施した保護者アンケートの結果をもとに、委員の皆様のご意見をいただきました。

◎標準服	新しい学校にふさわしいもの、ジェンダーレスへの対応等の意見をもとに、ブレザー、ズボン・スカート、ポロシャツを基準として調整。
◎体操服	現在着用しているものと同系色で新しい素材（速乾性・機能性・耐久性）を使用したもので調整。標準服、体操服については、保護者負担の軽減のため移行期間を設け、徐々に新しいものに移行していく。
◎スクールバッグ	「ランドセルを使用するより、軽くて持ち運びやすくパソコンが収納できるリュック型のバッグの方が機能的ではないか。」「保護者の金銭的な負担の軽減にもつながるのではないか。」等の意見をもとに、リュック型のスクールバッグの方向で調整。

（両荘中学校ホームページ掲載の「標準服等検討委員会だより Vol.1」から一部抜粋）

加古川市立義務教育学校両荘みらい学園の開校に向けて、両荘みらい学園が目指す教育のかたちを示したグランドデザインをもとに、学校生活における一日の流れ（時程表）や特色ある教育課程（英語科、ふるさと科）等の学校運営に関する内容についても検討を進めています。

子どもたちの中には、「先生、次の学校の名前は決まったんですか？なんて言うんですか？」と尋ねてくる子もいました。子どもたちも意識しているのが伝わってきます。

平荘小学校は、今年度で創立129年です。あと2年と少しで閉校となりますが、この2年と少しがとても大事だと考えています。これからも、子どもたちに慕われ、地域に愛される平荘小学校として、一日一日を大切に、教育活動を推進していきますので、ご理解ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。